

日本語でエラーの原因をすばやく確認

# ErrorInsight

## 操作説明書



エラーログをコピーして Enter を押すだけ。  
日本語で原因と確認ポイントを案内します。

### ErrorInsight とは



#### エラーログを見える化

エラーログをコピーするだけで、エラーらしい行を見つけ出し、行番号・言語・説明・原因候補・確認ポイントを表示します。



#### ローカルで安全に動作

外部通信やデータ送信は行いません。ログはあなたのPC内で処理され、クリップボードの内容も保存・送信されません。



#### 日本語でわかりやすく案内

専門用語が多いエラーも、日本語で原因の候補や確認すべきポイントを整理して表示。誰でも迷わず確認できます。

### 基本の使い方（3ステップ）

1



#### エラーログをコピー

ターミナルやエディタに表示されたエラーログをすべてコピーします。

2



#### 貼り付けて Enter を押す

ErrorInsight のウィンドウに貼り付け、Enter キーを押します。自動で解析が始まります。

3



#### 日本語の案内を確認

エラーの原因候補や確認ポイントを日本語で表示します。順に確認して解決にお役立てください。



#### 安心してご利用いただけます

- ✓ 外部通信なしのローカル動作
- ✓ ログの送信・保存・クリップボードの保存なし
- ✓ 課金やライセンス認証はありません

# 使う前の準備

1



## ZIPをダウンロード

GitHub Releases または Vector から ErrorInsight のZIPファイル入手します。

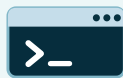
2



## ZIPを展開

任意の場所に展開します。展開したフォルダの中身をそのまま使います。

3



## batファイルを確認

フォルダ内の Start\_ErrorInsight.bat を確認します。  
基本操作ではこのファイルを起動します。

4



## Pythonの準備は不要

配布パッケージには実行に必要なPython環境を同梱しています。利用者が別途Pythonを入れる必要はありません。

## 確認しておくこと



## Windows向け

この配布版は Windows 向けです。  
macOS 向け配布は現時点では未対応です。



## 配布元を確認

公式の GitHub Releases または Vector から入手したものが確認してから起動してください。

## 同梱しているPython環境について

同梱しているPython環境は、ErrorInsightを動かすために使用します。利用者のPCに入っている他のPython環境を変更するものではありません。

## 最新版の入手先

ErrorInsight の最新版は、開発者HPから確認できます。  
開発者HP : <https://wakamiki.github.io/PortfolioMySite/>  
ソースコード公開 : <https://github.com/wakamiki/ErrorInsight>  
問い合わせメールアドレス : [miki.job2026@gmail.com](mailto:miki.job2026@gmail.com)

# 基本の使い方

Start\_ErrorInsight.bat を起動してから、エラーログをコピーします。

1



## Start\_ErrorInsight.bat を起動

Start\_ErrorInsight.bat をダブルクリックします。コンソール画面が開きます。

2



## エラーログをコピー

ターミナル、コンソール、開発ツールなどに表示されたエラーログをコピーします。

3



## Enterを押す

ErrorInsight の画面で Enter を押します。クリップボードの内容を読み取って解析します。

4



## 同じ画面で結果を確認

エラーらしい行、言語、説明、原因候補、確認ポイントが同じコンソール画面に表示されます。

## 大切な順番

ErrorInsight は、Enter を押した時点でクリップボードにある文字を読み取ります。Start\_ErrorInsight.bat を起動したあとに、解析したいログをコピーしてください。

## 続けて使う場合

画面を閉じずに、新しいエラーログをコピーして Enter を押します。PCを終了した後や画面を閉じた後は、もう一度 Start\_ErrorInsight.bat を起動します。

# 表示結果の見方

どの行を、どの順番で確認すればよいかを読み取ります。

2行目	: AttributeError: 'NoneType' object has no attribute 'split'
言語	: Python
説明	: 存在しない機能や値を使おうとした可能性があります。
原因候補	: メソッド名や属性名の間違い、None参照、型違いの可能性があります。
確認ポイント	: 対象オブジェクトの型、属性名・メソッド名、Noneになっていないかを確認してください。
ヒント	: 対象の型は 'NoneType'、存在しない属性またはメソッド名は 'split' です。

## 各項目の意味



### 行目

コピーしたログ全体の中で、何行目にあったエラーかを示します。



### 言語

ログ全体から推測した言語です。Python、Java、C#、JavaScript、SQL、不明のいずれかが表示されます。



### 説明・原因候補

エラー種別から見てとれる範囲で、簡単な説明とよくある原因候補を表示します。



### 確認ポイント・ヒント

最初に確認するとよい場所を表示します。型名、属性名、ファイル名などが読める場合はヒントも表示します。

## 不明と表示される場合

ErrorInsight が十分な根拠を持って判断できなかった状態です。失敗ではありません。エラー行の前後や、直前に変更したコードを確認してください。

# 繰り返し利用と終了

一度起動すれば、何度でもエラーログを解析できます。

## 繰り返し利用の流れ


コンソールは開いたままで繰り返し使えます



## 終了方法

以下のいずれかの方法で終了できます


**1** コンソールのウィンドウを閉じる



ウィンドウ右上の「×」をクリックして閉じます。

または

**2** q を入力して Enter を押す



コンソールに q を入力し、Enter を押します。



PC の再起動や、コンソールを閉じた後に再度使う場合は、Start\_ErrorInsight.bat をもう一度起動してください。

## サンプルログについて

動作確認用のサンプルログを用意しています

python_error.log  Python のサンプル エラーログ	java_error.log  Java のサンプル エラーログ	csharp_error.log  C# のサンプル エラーログ	javascript_error.log  JavaScript の サンプルログ	sql_error.log  SQL のサンプル エラーログ	no_error.log  エラーが含まれない ログのサンプル
--	--	--	---	--	---

サンプルログをコピーして、実際の操作を試してみてください。

# 困ったとき



## クリップボードのログが見つかりません

ErrorInsight はクリップボードからログを読み取ります。先にエラーログをコピーしてから、ツールを起動してください。

### ヒント

エラー画面で範囲を選択して Ctrl + C、または右クリックからコピーします。



## エラーらしい行が見つかりませんでした

ログの形式によっては、自動で検出できない場合があります。対象の行が含まれていることを確認してください。

### ヒント

エラーメッセージの付近を、前後数行まで含めてコピーすると検出しやすくなります。



## 画面が閉じず、そのままです

結果が表示された後も画面はそのままです。「Enter」キーを押すと次のログを確認できます。

### ヒント

バッチファイルは確認後も閉じない仕様です。終了する場合は q + Enter を使えます。



## 文字化けしてしまう

お使いの環境の文字コードが原因の可能性があります。ログの文字コードが UTF-8 であることを確認してください。

### ヒント

不明な場合は、エディタで「UTF-8」または「自動判別」で開いてからコピーしてください。



## セキュリティの確認画面が表示される

初回起動時などに、Windows のセキュリティ確認が表示されることがあります。

### ヒント

GitHub Releases または Vector から入手したものか確認してから起動してください。



## フォルダーを削除してアンインストール

インストールは不要です。フォルダーごと削除するだけで、簡単にアンインストールできます。

### ヒント

設定や情報は保存されないため、削除後は何も残りません。



## ご注意：ErrorInsight は原因を断定するツールではありません

ErrorInsight は、エラーログを読みやすく整理し、確認のポイントを提示するツールです。原因の特定や修正は、システムの知識や実行環境、コードの内容を踏まえてご判断ください。本ツールの情報は、調査の「参考情報」としてご活用ください。